

【丹波未来創造委員会】

委員長 池田佳正

所 信

2歳半になる私の娘は、毎日すべての物事が発見の連続で手に取るものすべてに興味を示します。聞く事すべてを繰り返し、見たものすべてを記憶に留めようとします。

こんな我が子の姿を見ていると、今、映っているこの世の中の現状に対して、またもっと身近なコミュニティーである丹波市に対して、可能性のある明るい未来、幸せだと感じることができる未来が示しているのかととても不安になります。

今から5年前、2004年11月1日丹波市は誕生しました。「ひかみはひとつ」という言葉を胸に、合併運動を推進してこられた先輩諸兄の行動力と実行力に感動と誇りを感じます。(社)ひかみ青年会議所として創立30周年に「ひかみ夢ビジョン 笑顔あふれるひかみを目指して」を発表され、35周年には(社)丹波青年会議所として「丹波市創造～今こそ依存から自立、自立から協働へ～」を提言され、丹波市の未来について真剣に考えられてまいりました。医療福祉問題、高齢化・後継者問題、環境問題、まちなみの保存・再生問題、市街地空洞化の問題など簡単には解決しがたい問題が丹波市に限らず山積しています。一方で丹波地方独自の特産品や田舎暮らし体験、丹波竜など今後のまちづくりで大いに期待できるような地域資源もたくさんあります。これらの問題や資源は相互に密接に関係し、まちづくりに関わる様々な立場の人々によって多角的・協動的・継続的な活動を通じてこそ問題の解決への道筋をつくる事が出来ます。

私たち丹波青年会議所としても明確で中長期的なビジョンを持って、問題に関わる全ての人々と相互に協力し、未来を担う子供たちが夢を持てるような、丹波に生まれて良かった、住んで良かったと胸を張っていえるようなまちにしたいと考えます。

丹波未来創造委員会では、この厳しい世の中だからこそ今「奉仕・修練・友情」三つの信条を礎として培ってきた「明るい豊かなまちづくり」への情熱と行政・住民・各種団体との活動の輪を拡げます。そして、過去の提言を一つひとつ検証し現状を分析する事を通して、未来へのメッセージとして今このまちに何が本当に必要で、何を改善しなければならないのか、守らなければならないものは何かを考えます。来るべき40周年にむけた新しいビジョンを模索しながら、広い大きな渦を起こすような心構えで取り組んでいきます。

基本方針

- 一、40周年に向けた中長期ビジョンの精査検証を行います
- 一、行政・住民・各種団体との連携による活動の輪を拡げます

事業計画

1. 3月例会
2. 7月例会
3. 3 J C 合同例会（4月）
4. 会員拡大の絶対推進
5. 行政・各種団体との連携・協力・交流
6. 各委員会との連携及び支援
7. 理事長諮問に関する事項